

# 体験から学ぶ。自ら学ぶ

今日は延期になっていた1～4年生の遠足でした。校長は2年生と一緒に青木村のリフレッシュパークへ行ってきました。

目的地でのメインの活動は「フィールド・アスレチックで遊ぶ」ことです。バスターミナルから約3.5kmを歩いた後でしたので、子どもたちは疲れているかなあと心配しましたが、予定していた時間をたっぷり遊びきることができました。



コースを回っていると、Aさんが「ブランコ渡り」のところにいました。1本のロープに丸太がついている「ブランコ」を、横に移っていくというアスレチックです。ロープも不安定だし、丸太もくるくる回ってしまいます。両手でしっかり1本のロープを握っていても、隣の丸太に足を乗せるのに時間がかかると疲れて落ちてしまいます。ゴールするのが難しいのですが、Aさんは繰り返しチャレンジする中でこんなコツをつかんでいました。

- ① **まずは、足場から1つ目の丸太に安定して乗る。**
- ② **片手を離して隣のロープをつかむ。**
- ③ **ロープ2本をつかんだまま、足だけ隣の丸太に移る。**



見ていると確かにこの方が安定しています。Aさんは自分が見つかったこのコツを、言葉で説明したり、手本を見せたりしてみんなに広めてくれました。

今回の遠足には各学年に学習支援ボランティアさんがついてくださいましたが、この「ブランコ渡り」を見守ってくださった方も、子どもたちの短時間の成長に驚いていらっしゃいました。

何度もチャレンジしたAさんは「ブランコ渡り」の最後のチャレンジを終えた時、「これをやると、まめができそうになるんだよなあ。」とつぶやいた後に自分の手を見つめ、「やっぱり、まめができてる。」とうれしそうに言っていました。

他にも、ふわふわ揺れる感覚が楽しい「吊り橋渡り」にのめり込むBさんや、「ターザンロープ」から動こうとしないCさん、Dさんの姿もありました。

地域の皆さんの見守りとおいしいお弁当のおかげで、楽しく学べた1日でした。